

## 船舶事故調査報告書

平成22年2月25日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗揚	
発生日時	平成21年1月23日 06時00分ごろ	
発生場所	長崎県北松浦郡乙子島北岸 小値賀港沖防波堤灯台から真方位313° 1,450m付近 （概位 北緯33° 11.3′ 東経129° 02.4′）	
事故調査の経過	平成21年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>あさひ</sup> 旭丸、3.23トン NS3-58856（漁船登録番号）、個人所有 8.50m（Lr）×2.12m×0.82m、FRP ディーゼル機関1基、漁船法馬力数50、昭和53年10月21日	
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和51年4月23日 免許証交付日 平成16年4月19日 （平成22年3月22日まで有効）	
死傷者等	なし	
損傷	全損	
事故の経過	本船は、平成21年1月23日03時30分ごろ、船長が1人で乗り組み、刺し網漁の目的で、北松浦郡小値賀町浜津漁港を出港し、操業を終えて帰航中、05時25分ごろ、主機関の回転数が下がり停止した。 船長は、05時30分ごろ、錨を投下したが、本船は、乙子島の方に圧流されて走錨し、06時00分ごろ乙子島の岩場に乗り揚げた。 船長は岩場に乗り移り、消防団員等により救助された。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北西、風速 12～13m/s 海象：波浪 北西、波高 約1m	
その他の事項	本船は、昨年9月にも航行中に主機関が停止し、燃料こし器の掃除等をしていた。また、船長は、圧流されて走錨したことで動転し、漁業無線で救助要請をすることに考えが及ばなかった。	
分析	乗組員等の関与	不明
	船体・機関等の関与	不明
	気象・海象の関与	不明
	判明した事項の解析	本船は、主機関が停止したことから乙子島北岸沖で錨泊したところ、圧流されて走錨し、同島の

		北岸に乗り揚げたものと考えられるが、走錨した原因及び主機関が停止した原因は明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が乙子島北岸沖で錨泊中、圧流されて走錨したため、同島の北岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	